

# (社福) 芦屋あゆみ会 全体的な計画 (2020年度)

保育理念	たくましく生きる基礎を育む	保育方針	※ 家庭的な雰囲気の中で一人一人のあるがままの姿を受け止め、共感し、子どもの豊かな育ちを援助する ※ 自然や社会の事象に対する興味や関心を育み、集団生活を通してともに育ちあう力を育てる ※ 家庭と緊密な連携を図り、保護者と子どもの育ちを支援する ※ 地域に行事を開放したり、地域の行事を支援したり、子どもたちの元気な育ちあいのための関係態勢づくりに努める							
保 育 目 標										
心も体も健やかな子ども			自分の思いを表現できる子ども			意欲をもって生活し遊ぶ子ども		思いやりやつながりを大切にする豊かな心を持った子ども		
重 点 的 に 取 り 組 む 柱										
健康を守る	事故防止 安全対策	食育の推進	人権の擁護	異年齢のかかわり	ともに育ちあう(インクルーシブ)	転園時の円滑な接続	保護者とともにすすめる保育	地域とのかかわり	職員の資質向上	
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な検診により、一人一人の健康状態・発育状態を把握する。</li> <li>健康な生活に必要な習慣や態度を育てる。</li> <li>充実感や満足感を得られるように努め、情緒の健全な発達を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設内外の点検や改修をし、整備に努める。</li> <li>安全研修・会議・定期訓練を実施し、天災・不審者に対する装備をする。</li> <li>安全教室や避難訓練等を経験し、防災の心構えを子ども達に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心も体も健康な発達を促す食事を提供する。</li> <li>豊かな食の体験の積み重ねにより、食に関心と意欲を持てるようにする。</li> <li>食と命のかかわりなどを実感し、食に対する感謝の気持ちを育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の違いを認め、自他の違いに気づき、互いに認め合い、一人一人が大切な存在だと感じる心を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>互いに親しみを持つとともに、あこがれや思いやりの気持ちを持ち、育ちあえるような保育を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の個性を認め、共に過ごすことで、仲間として理解と認識を深め、社会性や豊かな人間性を身につけるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書面、及び担当職員同士の面談により、子どもたちの接続がスムーズなものであるよう努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の保育の発信や成長につとめ、発達をともに喜ぶ。</li> <li>子育てや保育に関する情報交換や交友の機会を設け、相談・支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の行事や人々に触れて地域に一層親しみを感じられるようなかかわりを大切にする。(老人会、商店会、近隣施設の行事、トライやる、園庭開放等)</li> <li>地域とともに子育てに取り組む体制の確立に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部の研修への積極的な参加、園内研修、職員会での話し合い、等を通じて、常に園の保育の向上、個人の技量の充実に努める。</li> </ul>	
ね ら い 及 び 内 容										
養 護	年 齢	0歳児 (～6カ月未満)	0歳児 (～12カ月ごろ)	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	保育所保育指針におけるねらい (1歳以上3歳未満児)	保育所保育指針におけるねらい (3歳以上児)
	生命の保持	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の生活リズムを大切に、食欲・睡眠・排泄などの生理的欲求を満たし、生活の安定を図る。(健やかに伸び伸びと育つ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心身の発達状態を把握し、清潔で安全な環境を提供し、適切に生活リズムを整えていく。(健やかに伸び伸びと育つ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>清潔で安全な環境の中で、食事・排泄など簡単な身の回りの活動に興味をもてるように援助する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な身の回りの活動を自分でしようとするのを見守り、確立を目指して必要に応じて援助する。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人が、快適に生活できるようにする。</li> <li>一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。</li> <li>一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。</li> <li>一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図られるようにする。</li> </ul>	
保 教 育	情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛情豊かな特定の大人とのかかわりを十分に信頼関係を築きながら、情緒の安定を図る。(身近な人と気持ちが通じ合う)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定の大人との信頼関係を十分持つことで、一人一人の甘えなどの欲求を満たし、情緒の安定を図る。(身近な人と気持ちが通じ合う)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の子どもの欲求などの感情を理解して満たし、安心して過ごせるようにする。</li> <li>歩行の独立に伴い、意欲的な探索活動を見守り、周りの人や物への興味や共感関係を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>できることが増える中で自信(自己肯定感)が育まれることを見守る。</li> <li>言葉を使ったやり取りが増え、周囲の大人や友だちとの共感関係が深まるよう援助する。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の子どもが、安定感をもって過ごせるようにする。</li> <li>一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。</li> <li>一人一人の子どもが、周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。</li> </ul>	
	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>生理的欲求を満たし、身体の状態をよく観察し、快適に過ごせるようにする。(健やかに伸び伸びと育つ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心できる環境の中で身の回りの世話をしてもらいながら、子ども自身もしてみようとする気持ちが持てるよう援助する。(健やかに伸び伸びと育つ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な身の回りのことに興味を持ち、自分でしてみようとする。</li> <li>色々な遊びの中で十分に身体を動かせるように援助する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのことが自分でできるようになる中で、清潔にすることへ関心が芽生えるよう援助する。</li> <li>色々な遊びの中で、十分に身体を動かせるようにする。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>① 明るく伸び伸びと生活し、自分から体を動かすことを楽しむ。</li> <li>② 自分の体を十分に動かし、様々な動きをしようとする。</li> <li>③ 健康、安全な生活に必要な習慣に気付き、自分でしてみようとする気持ちが育つ。</li> </ul>
保 教 育	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛情豊かな特定の大人と過ごすことで信頼関係を育む。(身近な人と気持ちが通じ合う)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>甘えなどの欲求を十分受け止め、周りの人や物への関心が芽生えるよう援助する。(身近な人と気持ちが通じ合う)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周りの大人や友だちのしていることに関心を持ち、関わりたいという気持ちが芽生えを見守り援助する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周りに様々な人がいることを知り、友だちと関わって遊ぶ楽しさが味わえるようにする。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>① 保育所での生活を楽しみ、身近な人とかわる心地よさを感じる。</li> <li>② 周囲の子ども等への興味や関心が高まり、関わりを持つようとする。</li> <li>③ 保育所の生活の仕方に慣れ、きまりの大切に気付く。</li> </ul>	
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>心身・五感の発達にふさわしい室内装飾、玩具等を整え使用し、身体を動かせる環境を保障する。(身近なものに関わり感性が育つ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おもちゃや絵本、散歩の際に目に触れるものなどごく身近にあるものに関心をもち、楽しめるよう援助する。(身近なものに関わり感性が育つ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な環境に親しみ、興味を持てるように、生活や遊びを工夫し、援助する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な生活環境を通して、また自然環境に親しみを持って触れる中で、性質や形、数量、文字などに自然に興味を持てるよう援助する。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>① 身近な環境に親しみ、触れ合う中で様々なものに興味や関心を持つ。</li> <li>② 発見を楽しんだり、考えたり、生活に取り入れようとする。</li> <li>③ 身近なものから、性質、数量、文字などに対する感覚を豊かにする。</li> </ul>
保 教 育	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>表情や身振りを含め優しく応答しながら、喃語を育む。(身近な人と気持ちが通じ合う)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>喃語への応答、絵本の読み聞かせなどを通じて、発語の意欲を育てる。(身近な人とのかかわりと身近なものとのかかわりで感性が育つ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>応答的なかかわりや話しかけをすることにより、自ら簡単な言葉を使おうとする意欲を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の欲求を言葉で表現したり、生活や遊びの中で、保育士と、あるいは友だち同士で、言葉のやり取りを楽しめるように援助する。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>① 言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる。</li> <li>② 人の言葉や話などを聞き、自分でも思ったことを伝えようとする。</li> <li>③ 絵本や物語等に親しむとともに、言葉のやり取りを通じて身近な人と気持ちを通わせる。</li> </ul>	
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>語りかけを含め、リズムなど五感で感じられるかかわりの中で、表情(感情)を豊かに表せるようにする。(身近な人とのかかわりと身近なものとのかかわりで感性が育つ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>わらべうたやふれあい遊びなどに親しみ、指さしや喃語などにより自発的に意思が伝わる喜びを感じるよう援助する。(身近な人とのかかわりと身近なものとのかかわりで感性が育つ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人や動物などの模倣をしたり、経験したこと、興味のあることを自分なりに表現できるように援助する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味のあることや経験したことなどを、言葉や身体、あるいは物を使って表現し楽しめるよう援助する。</li> <li>簡単な製作に取り組んだり、歌やリズムに合わせて動くことを楽しめるよう援助する。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>① 身体の諸感覚の経験を豊かにし、様々な感覚を味わう。</li> <li>② 感じたことや考えたことなどを自分なりに表現しようとする。</li> <li>③ 生活や遊びの様々な体験を通して、イメージや感性が豊かになる。</li> </ul>